農村公衆電話と農村集団自動電

話

通信の変遷

話」の制度ができると、一定の 戸数がある集落に公衆電話

和8年から始まり られていました。 線を接続するサー く、設置はその後も、

換機にプラグを差し込み回 農協、企業や商店の一部に限 では電話の普及が進みにく 家が広域に点在する山 ました。 ビス)が昭 、役場や

が設置され、電話交換(交 昭和6年には、草野局に電

ヤル式の電

昭和30年に「農村公衆電 近になっていきまり 開通し、電話がいよいよ身 その後、ダイ

が、山村の可能性を広げ注力。通信インフラの充実 りました。村は、携帯電話 電話を利用するようにな 話はプッシュ式に置き換わ 不通話エリアの解消やイン ら高齢者まで個人が携帯 平成期には、子どもか ネット環境の整備に

代にはダイヤル式電話も

ービスでした。昭和50年

で明治44年からでした。

取り扱いは、最も早

·い草野局

が始まりましたが、村内での 治2年に東京・横浜間で運用

各戸に電話を引くという

自動交換機を設置して、 の希望者が住むエリアに

局しました。

国内電報は明

開局。追つて飯樋局は昭和2

大倉局は昭和13年に開

集電話) 」が開通。一

定数

「農村集団自動電話(農

そして昭和4年には、

年、二枚橋局は明治12年に 制度です。草野局は明治7 最初に導入され

たのは郵便

受話器が赤、有償架設の

。国費負担

の電話は

ものは黒でした。

進めた通信インフラで、村に

明治に入り

が

*整備を

引

かれるようになりま



右) 昭和44年11月に開通した農村集団自動電話。 左)ダイヤル式電話開通へ。電話線工事。(昭和50年)

旧飯舘中学校の研究授業。テレビ電話で沖縄県の中 学生と対話し当時の先端技術を体感。(平成11年)

7月20日(土)は、「はるお姉さんの サイエンスショー」の開催に合わせて、 交流センターで図書貸出を行います。 「平日はなかなか行けないんだよね」 そんな方もぜひお越しください。

図書貸出

7月20日(土) 受け付け 午前10時~午後3時

サイエンスショーもまだまだ観覧者 を募集中です!!

問 生涯学習課☎0244-42-0072

の入れ替えを行 ン開催日に図 書貸 を使用し、 た、今年度は図 ます しており、ま 出ボックス

もこあら号で巡

塚、前田・八和木の地区のサロンに 豊かになるよう引き続き図書の た。多くの方々が読書を通じて心 貸出冊数は、延べ1 購入、整理、貸出等に力を入れて 令和5年度の交流センター図書 ´ます 佐須、草野、関根·松 2冊でし

からのお知らせです。交流センター「ふれ感 「ふれ愛館」

交流センター

の図書貸出

ご利用をありがとうございます

ふれ愛館だより

イノサル通信

伊丹沢モデル地区事業報告~果樹伐採調査

過去にも、この通信に掲載させていただきました、伊丹沢地区で行われているモデル地 区事業の最新情報をお伝えします。前回(令和5年11月号)は、農地にサルの侵入を防ぐた めの柵を設置して効果を検証するという「防除」の作業をご紹介しました。今回は、サルが出 没する原因になるものを取り除くという、「環境整備」の作業をご紹介します。

危ない?放任果樹

柿や栗などの実がなっている光景は、季節感があっ ていいですね。家によっては、先祖伝来の果樹や、大 切にしてきた果樹もあると思います。実がなって、きち んと収穫されている果樹は、何も問題はありません。 しかし、実がなっても収穫せずそのままになっている 果樹を「放任果樹」といい、サルやイノシシなど、さま ざまな動物のエサ場になってしまいます。つまり、放 任果樹は獣害対策の観点からすると、危ないものと言 えます。伊丹沢地区では、そのような放任果樹を選定 して、住民が協力して伐採する計画を立てています。



まずは調べよう

5月2日に、伐採を希望されている放任果樹の調 査が行われました。伐採の希望者だけでなく、区長や 実際に伐採の作業を行う予定の住民など、有志で伐 採予定の放任果樹を見てまわりました。その結果、合 わせて80本近くの放任果樹を伐採することになりま した。



いよいよ作業!

5月19日に伊丹沢地区の役員会があり、その中で、調査の内容をまとめた資料をもとに、伐採の作業 方法などについて話し合いが行われました。今後は、伐採作業をするメンバーの打ち合わせを経て、実 際にチェーンソーを使った伐採作業に入ります。

伊丹沢地区の皆さんからは、地域をサルから守るという熱意を感じます。放任果樹の伐採 が、地域にとって良い結果をもたらすよう、私たちもサポートしていきます。結果は、いず れこの通信で報告したいと思います。伊丹沢地区の皆さん、作業はご安全に!

イノサル通信は村 の鳥獣対策を支援 する京黒さんから



福島県避難地域鳥獣対策支援員

ままうぐろ あつし 京黒 篤志 さん

令和3年1月から福島県避難地域鳥獣対策支援員を務め ています。令和6年度から飯舘村の主担当となりました。